

山梨県立大学国際政策学部学生の就職意識

－ 2016 年度・2017 年度の調査から －

箕浦 一哉 申 龍徹

Career Consciousness of Students of the Faculty of Glocal Policy Management
and Communications of Yamanashi Prefectural University:
Results of surveys in 2016 and 2017

MINOURA Kazuya SHIN Yongcheol

Abstract

In this paper, we report the results of career consciousness survey of the students of the Faculty of Glocal Policy Management and Communications of Yamanashi Prefectural University in 2016 and 2017. As a general trend, the results of this survey were not obviously different from results of a nationwide survey. On top of that, among the two departments of the faculty, the students of the Department of Policy Management (GP) had rather a realistic view of their career, whereas the students of the Department of International Studies and Communications (GI) seemed to be more idealistic. Intentions of working abroad of the GP students were similar to the nationwide average, and those of the GI students were remarkably higher. Regarding intentions of working in Yamanashi prefecture, not only many of the students from Yamanashi hoped to find a job in Yamanashi, but also even about 20% of the students from other prefectures did.

キーワード：就職活動、キャリア意識、大学生、キャリア教育

key words: job hunting, career consciousness, university students, career education

1. はじめに

山梨県立大学国際政策学部ではキャリア教育・キャリア支援の改善に役立てることを目的として2016年度および2017年度に学生を対象とした就職意識調査を実施した。本稿ではこの調査の結果について述べる。

2. 調査の概要

調査票は、株式会社マイナビが1978年以降実施している「大学生就職意識調査」の質問をベースとして、設問を追加・修正して作成した。設問一覧を表1に示す。これらの質問のうち、質問(5)

から質問(10)までは質問(4)において「民間企業志向」と回答した者を対象とし、質問(11)は「公務員等志向」の者を対象としている。

調査対象は国際政策学部の全学年を対象とし、2016年度および2017年度後期(12月配付)に実施した。配付・回収は主にゼミを通じて行った。

表2に本調査の回答数と当該年度の在籍学生数、その比率である回答率を示す。2016年度は33%、2017年度は39%の回答率であった。全体として回答率が高いとはいえず、また学年・学科による回答率のばらつきもある。そのため、本調査結果を使用するうえでは、この調査結果が学部

表1 設問一覧

設問
(1) あなたの就職希望度は次のうちどちらですか。
(2) 就職しなかった場合の進路はどうしますか。
(3) あなたの「職業観」に最も近いものはどれですか。
(4) あなたは「民間企業志向」ですか。それとも「公務員、NPO・NGO法人等志向」ですか。
(5) あなたは「大手企業志向」ですか。それとも「中堅・中小企業志向」ですか。
(6) あなたは「県内企業志向」ですか。それとも「県外企業志向」ですか。
(7) どの都道府県の企業を志向しますか。
(8) あなたが企業選択する場合、どのような企業がよいと思いますか。
(9) あなたが企業選択する場合、どのような企業が良くないと思いますか。
(10) 現時点での志望業種は何ですか。
(11) 現時点での志望公務員、NPO・NGO法人等は何ですか。
(12) あなたの海外勤務志向に最も近いものはどれですか。

表2 本調査の回答数と回答率

		総合政策学科 (GP)					国際コミュニケーション学科 (GI)					計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	2年	3年	4年	計	
2016年度	回答数	32	16	14	8	70	40	1	18	1	60	130
	在籍数	45	42	45	57	189	46	42	55	65	208	397
	回答率	71%	38%	31%	14%	37%	87%	2%	33%	2%	29%	33%
2017年度	回答数	24	26	27	14	91	16	11	19	15	61	152
	在籍数	43	45	47	51	186	46	46	41	74	207	393
	回答率	56%	58%	57%	27%	49%	35%	24%	46%	20%	29%	39%

表3 回答者の出身地

		総合政策学科 (GP)					国際コミュニケーション学科 (GI)					計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	2年	3年	4年	計	
2016年度	山梨県内	21	11	7	5	44	19		9	1	29	73
	山梨県外	11	5	7	3	26	21	1	9		31	57
	計	32	16	14	8	70	40	1	18	1	60	130
2017年度	山梨県内	12	15	16	5	48	5	3	9	8	25	73
	山梨県外	12	11	11	9	43	11	8	10	7	36	79
	計	24	26	27	14	91	16	11	19	15	61	152
	総計	56	42	41	22	161	56	12	37	16	121	282

全体の状況を精度よく反映してはいない可能性があることをふまえておく必要がある。

表3は回答した学生の出身地を山梨県内・県外に分けて示したものである。総合政策学科の方が県内出身者が多い。また、両学科とも2016年度の方が県内出身者が多い結果となっている。

3. 調査結果の概要

以下では単純集計結果を用いて学生の就職意識の概要を示す。学年等の偏りの補正はおこなっていない。集計結果は本稿末尾の付表に記載する。表中では総合政策学科をGP、国際コミュニケーション学科をGIと表示している。

以下の記述において、項目によってはマイナビが2018年に実施した「2018年卒マイナビ大学生就職意識調査」(以下「マイナビ調査」)¹⁾の結果と比較して考察している。ただし、マイナビ調査と本調査では調査時期・調査対象者に違いがあることを考慮に入れる必要がある。マイナビ調査では、就職活動をおこなう翌年3月卒業見込みの大学3年生・大学院1年生を対象とし、2月から4月にかけて実施している。したがって単純な比較はできないことに注意が必要である。

(1) 就職希望度

この設問では大学卒業時に必ず就職したいかどうかをたずねた。約8割の学生が必ず大学卒業時に就職したいと回答した。いずれの年度も「大学卒業時に就職しなくてもよい」とする学生は国際コミュニケーション学科の学生にやや多かった。就職活動を目前に控えた3年生のみでみると、「必ず大学卒業時に就職したい」としたのは、2016年度・2017年度の合計で、総合政策学科では88% (41人中36人)、国際コミュニケーション学科では73% (37人中27人)であった。

マイナビ調査では、「なにがなんでも就職したい」が88.1%であった。選択肢の文言が異なることの影響が軽微だとすれば、総合政策学科の就職希望度は全国と同水準であり、国際コミュニケーション学科はやや低いとみることができる。

(2) 就職しなかった場合の進路

「必ずしも大学卒業時に就職しなくともよい」と回答した者(2016年度22人、2017年度30人)に、就職しなかった場合の進路をたずねた。最も多い回答は「進学(留学,大学院等進学)」で、63% (30人中19人)が回答した。マイナビ調査では「進学(留学,大学院等進学)」は30%であり、本学部では進学(留学)の志向がやや高いようである。

(3) 職業観

職業観についての回答では、学部全体としては「④個人の生活と仕事を両立させたい」が最も多く、次に「①お金を稼ぎたい」「②楽しく働きたい」が多かった。

学科間を比較したときに、総合政策学科で特徴的に多いのは「①お金を稼ぎたい」であった。その回答率は、総合政策学科では2016年度27%、2017年度29%で、国際コミュニケーション学科ではそれぞれ18%、10%であった。一方、国際コミュニケーション学科で多いのは「③自分の夢のために働きたい」と「⑥人のためになる仕事をしたい」であった。「③自分の夢～」について、総合政策学科では2016年度1%、2017年度8%であったのに対し、国際コミュニケーション学科ではそれぞれ18%、20%であった。また「⑥人のためになる～」については、総合政策学科では年度別にそれぞれ6%、9%、国際コミュニケーション学科ではそれぞれ13%、16%であった。これらを総合すると、総合政策学科がどちらかというと現実主義的であるのに対し、国際コミュニケーション学科には理想主義的な傾向があるようである。

マイナビ調査の結果では、多い順に「楽しく働きたい」(29.7%)、「個人の生活と仕事を両立させたい」(26.2%)、「人のためになる仕事をしたい」(16.1%)であった。マイナビ調査で「収入さえあればよい」となっていた選択肢を本調査では「お金を稼ぎたい」と変えており、マイナビ調査ではこの項目を選択する者は3.4%と少数であった。マイナビ調査と本調査との結果の違いは、この選

択肢の文言の相違に起因するところが大きいと考えられる。

(4) 民間企業志向か公務員等志向か

この設問では学生が民間企業志向か公務員等志向かをたずねた。総合政策学科では公務員等を志向する者が多く、2016年度は49%、2017年度は36%であった。一方、国際コミュニケーション学科で公務員等を志向したのはそれぞれ20%、26%であった。学科による志向の差が認められる。

(5) 大手企業志向か中堅・中小企業志向か

この設問では民間企業を志向する者（2016年度84人、2017年度103人）に大手企業志向か中小企業志向かをたずねた。「大手企業」を志向する者（選択肢①と②の合計）が2016年度は64%、2017年度は57%であり、一方「中堅・中小企業」を志向する者（選択肢③と④の合計）はそれぞれ36%、42%であった。これらの学科による違いは大きくなかった。「①絶対に大手企業がよい」とする者は総合政策学科に多かった。

マイナビ調査の選択肢では、①の文言は同じだが、②は「自分のやりたい仕事ができるのであれば大手企業がよい」、③は「やりがいのある仕事であれば中堅・中小企業でもよい」、④は「中堅・中小企業がよい」となっていた。回答率は①+②の数値で55%、③+④は45%であった。やや本調査で大手企業志向が強い結果に見えるが、選択肢の文言の違いの影響も考えられ、はっきりした違いとは言えない。

(6) 県内志向か県外志向か

この設問では民間企業を志向する者に県内企業と県外企業のどちらを志向しているかをたずねた。この質問はマイナビ調査には存在しない。総合政策学科で2016年度61%、2017年度49%、国際コミュニケーション学科でそれぞれ25%、34%が県内企業を志向した。総合政策学科において県内企業志向が高い結果がみとめられた。

県内・県外の志向を出身地別によっても集計した。県内出身学生が県内企業を志向する傾向が顕

著であったのは当然であるが、県外出身にもかかわらず県内企業を志向する学生もある程度存在することがわかった（2016年度14%、2017年度22%）。その一方で、県外企業を志向する県内出身学生が2016年度で40%、2017年度で35%いた。学科別でみると、総合政策学科では県外志向の県内出身学生は1/4程度にとどまっている（2016年度24%、2017年度29%）のに対し、国際コミュニケーション学科では半数にのぼっている（同57%、50%）。

(7) どの都道府県の企業を志向するか

この設問では、県外企業を志向する者（2016年度50人、2017年度59人）にどの都道府県の企業を志向するかをたずねた。両年度とも東京都が最も多かった。

(8) どのような企業がよいか

企業を選択する上でのポイントとして、マイナビ調査に準じて20の選択肢から2つ選択させた。上位3位までの項目は2016年度・2017年度ともに共通していて、順に「④自分のやりたい仕事（職種）ができる企業」（2016年度44%、2017年度43%）、「①安定している企業」（同20%、21%）「⑦勤務制度、住宅など福利厚生がよい企業」（同19%、20%）であった。

マイナビ調査でも上位2項目は共通で、「④自分のやりたい～」は38.1%、「①安定している～」は30.7%が選択していた。回答率に多少の違いはあるが、全体としては全国傾向との大きな違いはないと言ってよいだろう。

学科別で見た場合に、「④自分のやりたい～」を国際コミュニケーション学科が、「①安定している～」を総合政策学科が、それぞれより多く回答している。また、「⑨海外で活躍できそうな企業」を選択する学生は国際コミュニケーション学科に顕著に多かった。両学科の志向の違いが表れているとみてよいのではないかと。

(9) どのような企業が良くないと思うか

企業を選択する上で避けたいと考えるポイントとして、マイナビ調査に準じて11の選択肢から2つ選択させた。回答の多かった順に「④休日・休暇がとれない(少ない)企業」(2016年度48%、2017年度36%)「①暗い雰囲気のある企業」(同32%、36%)「②ノルマのきつそうな企業」(同21%、25%)であった。順位は異なるが、マイナビ調査での上位項目と共通しており、全体としては全国傾向と大きな違いはない。学科間の差は顕著ではない。

(10) 志望業種

現時点での志望業種について、13の選択肢から1つ回答させた。マイナビ調査ではこの内容の設問はない。回答の多かったのは、総合政策学科では「⑤金融・保険業」(19%)、「⑪サービス業」(17%)、「②情報通信業」(15%)の順であった。一方、国際コミュニケーション学科では「⑪サービス業」(33%)、「②情報通信業」(16%)、「④商社・卸・小商業」(13%)の順であった。総合政策学科の金融業志向と国際コミュニケーション学科のサービス業志向に学科の特徴が表れている。

(11) 公務員等の志望内容

この設問では、設問(4)において「②公務員、NPO・NGO法人等がよい」と回答した者(2016年度46人、2017年度49人)に対して、その志望内容をたずねた。総合政策学科では地方公務員の志望が多い(2016年度79%、2017年度70%)。国際コミュニケーション学科では教職の志望も目立つ(同25%、25%)。

(12) 海外勤務志向

この設問では海外勤務志向についてたずねた。国際コミュニケーション学科で海外志向が顕著である。「①仕事内容に関わらず海外で勤務したい」とする者も2割前後いる(2016年度23%、2017年度15%)。「②やりたい仕事があるので海外で勤務したい」「③希望する勤務地なら海外で勤務したい」と合わせると、7割にのぼる(同78%、

67%)。一方、総合政策学科では半数程度が「④海外勤務はしたくない」としている(同53%、48%)が、3分の1ていどは「③希望する勤務地なら海外で勤務したい」としている(同34%、38%)。

マイナビ調査では、①から④までの回答が順に8.9%、9.5%、31.1%、50.4%であった。これは総合政策学科の結果に近く、国際コミュニケーション学科の学生が全国の学生一般と比較しても海外志向が高いことがわかる。

4. おわりに

今回の調査では回答率が十分高くはなかったため、国際政策学部学生の就職希望の傾向について確実なことは言うのは難しいが、大まかに見えたこととしていくつかの点を指摘しておこう。

全体的な傾向としては、本調査結果はマイナビ調査で示されている結果と類似しており、全国の平均的な大学生の就職志向と大きくは異なっていないといえる。その上で、(4)の職業観や(8)の企業選択のポイントからは学科間の傾向の相違が認められた。総合政策学科がどちらかと言えば現実主義的な職業観を持っているのに対し、国際コミュニケーション学科には理想主義的な傾向があるようであった。海外勤務志向については、総合政策学科学生は全国傾向並みであり、国際コミュニケーション学科の学生は顕著に高かった。

県内・県外志向については、県内出身学生の少なくない数の学生が県内就職を志向している上、県外出身学生についても2割前後の県内就職志向がみとめられた。これは就職結果の実態よりも多い割合であり、県内就職へのポテンシャルが示唆された。

今回の調査結果と日々の学生指導での見聞とを考え合わせると、多くの学生は大学での学修と就職志向を切り離して考えており、学修をキャリアに結びつけている学生は一部にとどまっているのではないかということが感じられる。多くの学生が意識するのは、自分が主体的に就職を選び取ることよりも、「社会」に自分が適応することなのではないだろうか。同時に教員の側も、専門教育

とキャリア教育を切り離している面があるかもしれない。自らのキャリアを大学での学びと結びつけて主体的に考えられるような学生を育てていくために、学部の専門教育を広い意味でのキャリア教育ととらえなおして検討していくことが必要であると考えられる。

謝辞

本調査は山梨県立大学学長プロジェクト「地域公共人材の情報共有システムの構築」(2016～2017年度)の一環で実施されたものである。

文献

- 1) 株式会社マイナビ「2018年卒マイナビ大学生就職意識調査」2017, http://mcs.mynavi.jp/enq/ishiki/data/ishiki_2018.pdf, 2018年10月26日閲覧.

付表

(1) あなたの就職希望度は次のうちどちらですか。(1つ選択)

	2016年度			2017年度		
	学部	GP	GI	学部	GP	GI
①必ず大学卒業時に就職したい	83%	89%	77%	80%	84%	75%
②必ずしも大学卒業時に就職しなくともよい	17%	11%	23%	20%	16%	25%
回答数	130	70	60	152	91	61

(2) 【(1)で②と回答した学生】就職しなかった場合の進路はどうしますか。(1つ選択)

	2016年度			2017年度		
	学部	GP	GI	学部	GP	GI
①進学(留学、大学院等進学)	41%	50%	36%	63%	40%	87%
②卒業して次年度就職活動する	14%	13%	14%	3%	7%	0%
③フリーター	18%	13%	21%	7%	13%	0%
④就職留年	14%	13%	14%	7%	13%	0%
⑤起業	5%	0%	7%	13%	27%	0%
⑥その他	0%	0%	0%	3%	0%	7%
無効回答	9%	13%	7%	3%	0%	7%
回答数	22	8	14	30	15	15

(3) あなたの「職業観」に最も近いものはどれですか。(1つ選択)

	2016年度			2017年度		
	学部	GP	GI	学部	GP	GI
①お金を稼ぎたい	23%	27%	18%	21%	29%	10%
②楽しく働きたい	18%	19%	18%	20%	23%	16%
③自分の夢のために働きたい	9%	1%	18%	13%	8%	20%
④個人の生活と仕事を両立させたい	34%	40%	27%	26%	24%	28%
⑤プライドのもてる仕事をしたい	4%	6%	2%	3%	3%	2%
⑥人のためになる仕事をしたい	9%	6%	13%	12%	9%	16%
⑦出世したい	0%	0%	0%	1%	1%	0%
⑧社会に貢献したい	2%	1%	3%	3%	2%	5%
無効回答	0%	0%	0%	2%	1%	3%
回答数	130	70	60	152	91	61

(4) あなたは「民間企業志向」ですか。それとも「公務員、NPO・NGO法人等志向」ですか。(1つ選択)

	2016年度			2017年度		
	学部	GP	GI	学部	GP	GI
①民間企業がよい	65%	51%	80%	68%	64%	74%
②公務員、NPO・NGO法人等がよい	35%	49%	20%	32%	36%	26%
回答数	130	70	60	152	91	61

※ (4)で「①民間企業」を選択した学生が(5)から(10)に回答

(5) あなたは「大手企業志向」ですか。それとも「中堅・中小企業志向」ですか。(1つ選択)

	2016年度			2017年度		
	学部	GP	GI	学部	GP	GI
①絶対に大手企業がよい	1%	3%	0%	4%	7%	0%
②できれば大手企業がよい	63%	61%	65%	53%	48%	60%
③できれば中堅・中小企業がよい	32%	33%	31%	40%	41%	38%
④絶対に中堅・中小企業がよい	4%	3%	4%	2%	2%	2%
無効回答	0%	0%	0%	1%	2%	0%
回答数	84	36	48	103	58	45

(6) あなたは「県内企業志向」ですか。それとも「県外企業志向」ですか。(1つ選択)

	2016年度			2017年度		
	学部	GP	GI	学部	GP	GI
①絶対に県内企業がよい	7%	8%	6%	12%	16%	7%
②できれば県内企業がよい	33%	53%	19%	30%	33%	27%
③できれば県外企業がよい	39%	28%	48%	32%	29%	36%
④絶対に県外企業がよい	20%	11%	27%	25%	21%	31%
無効回答	0%	0%	0%	1%	2%	0%
回答数	84	36	48	103	58	45

[出身地別集計]

	2016年度			2017年度		
	学部	県内生	県外生	学部	県内生	県外生
①絶対に県内企業がよい	7%	13%	0%	12%	22%	2%
②できれば県内企業がよい	33%	48%	14%	30%	41%	20%
③できれば県外企業がよい	39%	25%	58%	32%	29%	35%
④絶対に県外企業がよい	20%	15%	28%	25%	6%	43%
無効回答	0%	0%	0%	1%	2%	0%
回答数	84	48	36	103	49	54

(7) 【(6)で③または④を選択した学生】 どの都道府県の企業を志向しますか。(1つ選択)

	2016年度			2017年度		
	学部	GP	GI	学部	GP	GI
①東京都	50%	29%	58%	44%	45%	43%
②長野県	6%	7%	6%	14%	21%	7%
③静岡県	8%	14%	6%	7%	7%	7%
④埼玉県	0%	0%	0%	2%	3%	0%
⑤神奈川県	8%	14%	6%	3%	0%	7%
⑥千葉県	4%	0%	6%	2%	0%	3%
⑦その他	2%	0%	3%	25%	24%	27%
無効回答	22%	36%	17%	3%	0%	7%
回答数	50	14	36	59	29	30

(8) あなたが企業選択する場合、どのような企業がよいと思いますか。(2つ選択)

	2016年度			2017年度		
	学部	GP	GI	学部	GP	GI
①安定している企業	20%	17%	23%	21%	31%	9%
②これから伸びそうな企業	5%	6%	4%	6%	9%	2%
③給料のよい企業	15%	6%	23%	13%	14%	11%
④自分のやりたい仕事(職種)ができる企業	44%	36%	50%	43%	36%	51%
⑤有名な企業	1%	0%	2%	0%	0%	0%
⑥休日、休暇の多い企業	14%	17%	13%	16%	14%	18%
⑦勤務制度、住宅など福利厚生がよい企業	19%	28%	13%	20%	16%	27%
⑧転勤のない企業	4%	6%	2%	3%	5%	0%
⑨海外で活躍できそうな企業	11%	3%	17%	11%	3%	20%
⑩いろいろな職種を経験できる企業	5%	6%	4%	2%	2%	2%
⑪自分の能力・専門を活かせる企業	17%	17%	17%	11%	10%	11%
⑫大学・男女差別のない企業	4%	0%	6%	3%	2%	4%
⑬若手が活躍できる企業	5%	6%	4%	2%	3%	0%
⑭事業を多角化している企業	0%	0%	0%	1%	0%	2%
⑮働きがいのある企業	12%	14%	10%	18%	19%	18%
⑯志望業種の企業	1%	0%	2%	3%	0%	7%
⑰親しみのある企業	1%	3%	0%	7%	10%	2%
⑱社風がよい企業	13%	22%	6%	15%	16%	13%
⑲一生続けられる企業	2%	6%	0%	2%	2%	2%
⑳研修制度のしっかりしている企業	1%	0%	2%	2%	3%	0%
回答数	84	36	48	103	58	45

(9) あなたが企業選択する場合、どのような企業が良くないと思いますか。(2つ選択)

	2016年度			2017年度		
	学部	GP	GI	学部	GP	GI
①暗い雰囲気のある企業	32%	39%	27%	36%	34%	38%
②ノルマのきつそうな企業	21%	22%	21%	25%	31%	18%
③仕事の内容が面白くない企業	17%	17%	17%	18%	14%	24%
④休日・休暇がとれない(少ない)企業	48%	47%	48%	36%	33%	40%
⑤転勤の多い企業	5%	6%	4%	4%	5%	2%
⑥大学・男女差別のありそうな企業	12%	3%	19%	17%	19%	13%
⑦財務内容の悪い企業	1%	3%	0%	7%	9%	4%
⑧体質の古い企業	14%	14%	15%	14%	9%	20%
⑨給料の安い企業	17%	11%	21%	17%	14%	22%
⑩残業の多い企業	20%	22%	19%	15%	17%	11%
⑪歯車になりそうな企業	7%	8%	6%	9%	10%	7%
回答数	84	36	48	103	58	45

(10) 現時点での志望業種は何ですか。(1つ選択)

	2016年度			2017年度		
	学部	GP	GI	学部	GP	GI
①製造業	2%	6%	0%	7%	10%	2%
②情報通信業	17%	19%	15%	14%	10%	18%
③運輸業・郵便業	2%	3%	2%	1%	2%	0%
④商社・卸・小商業	13%	8%	17%	13%	16%	9%
⑤金融・保険業	14%	22%	8%	12%	16%	7%
⑥不動産業	1%	3%	0%	1%	2%	0%
⑦飲食・宿泊業	2%	0%	4%	5%	3%	7%
⑧医療・福祉業	0%	0%	0%	0%	0%	0%
⑨教育・学習支援業	5%	0%	8%	4%	5%	2%
⑩複合サービス業	2%	3%	2%	8%	5%	11%
⑪サービス業	24%	11%	33%	27%	22%	33%
⑫建設業	1%	3%	0%	0%	0%	0%
⑬その他	0%	0%	0%	8%	9%	7%
無効回答	15%	22%	10%	2%	0%	4%
回答数	84	36	48	103	58	45

※ (4)で「②公務員、NPO・NGO法人等」を選択した学生が(11)に回答

(11) 現時点での志望公務員、NPO・NGO法人等は何ですか。(1つ選択)

	2016年度			2017年度		
	学部	GP	GI	学部	GP	GI
①国家公務員	9%	9%	8%	12%	12%	13%
②地方公務員	70%	79%	42%	57%	70%	31%
③公共団体	4%	0%	17%	2%	0%	6%
④教職	9%	3%	25%	8%	0%	25%
⑤警察	2%	3%	0%	2%	0%	6%
⑥NPO法人	2%	3%	0%	4%	6%	0%
⑦NGO法人	4%	3%	8%	4%	6%	0%
⑧その他	0%	0%	0%	8%	6%	13%
無効回答	0%	0%	0%	2%	0%	6%
回答数	46	34	12	49	33	16

※ (12)は全員が回答

(12) あなたの海外勤務志向に最も近いものはどれですか。(1つ選択)

	2016年度			2017年度		
	学部	GP	GI	学部	GP	GI
①仕事内容に関わらず海外で勤務したい	13%	4%	23%	9%	5%	15%
②やりたい仕事があるので海外で勤務したい	8%	7%	8%	10%	5%	16%
③希望する勤務地なら海外で勤務したい	40%	34%	47%	38%	38%	36%
④海外勤務はしたくない	38%	53%	22%	39%	48%	26%
無効回答	1%	1%	0%	4%	2%	7%
回答数	130	70	60	152	91	61